

2016年9月23～25日；四日市東日本大震災支援の会 第37回派遣 宮城県東松島市 大交流会 活動報告

2016年9月30日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

宮城県東松島市では、集団移転が進んできました。しかし、まだ仮設住宅で不自由な暮らしを続けているお年寄りがいます。今回は、矢本運動公園仮設住宅自治会の皆さんが中心になって開催する大交流会に参加しました。この交流会は、新しい移転先の住人、集団移転先周辺の住民も巻き込んだものです。この交流会には青森から「ねぶた」運行もありました。支援の会は、ねぶた運行時の交通整理、ハネトとしての参加、屋台の手伝いなどを行いました。

宮城県東松島市；宮城県石巻市の西、松島町の東に位置し、2011年の東日本大震災では、沿岸地域だけでなく、海岸線から数キロ内陸まで津波が押し寄せ、住宅地の65%が浸水し、たくさんの方が亡くなり、多くの家屋が全壊・流失の被害を受けました。

<活動場所>

■あおい地区(集団移転先の駅前広場)

参加費

学生 7,000 円

<費用の内訳>

- ・四日市大学ー宮城県の往復移動、入浴2回
- ・ボランティア活動保険

★23日の夕食、24日朝食・昼食・夕食、25日朝食・昼食は各自負担

<スケジュール概要>

★9月23日(金)

14:40 ボラセンに集合

15:00 四日市大学出発(四日市大学バス停裏の職員駐車場)

24:00 仙台で入浴⇒矢本運動公園仮設で宿泊

★9月24日(土)

10:00 起床・朝食；ミーティング

11:00～自治会役員さんたちと準備

12:00～昼食交流会

14:00～タコなしたこ焼き&ワッフル屋台

15:00 式典

16:00 ねぶた運行

20:00 元気の湯で入浴&食事⇒矢本で宿泊

★9月25日(日)

5:00 起床⇒朝食

6:00 出発⇒18:00頃 四日市大学帰着 ⇒ 片付け ⇒ 解散



青森から来たねぶたチーム「じゃわめぎ隊」



祭りがスタート



何千人もが来場してまちびらきを祝う



参加メンバー全員と仮設住宅自治会の皆さん